
東北芸術工科大学 紀要

BULLETIN OF
TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

No.21 | Mar.2014



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

東北芸術工科大学 紀要

BULLETIN OF
TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

No.21 | Mar.2014

©2014 by Tohoku University of Art and Design

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced in any manner whatsoever without permission in writing.

Editor:

Hiroshi KOTO (Head)

Masataka YOSHIDA

Hiroyuki AOYAMA

Editorial design:

Kazuya KONDO

Printed by:

Tamiya Printing Co., Ltd.

Published by Tohoku University of Art and Design

3-4-5 kamisakurada, Yamagata

990-9530 Japan

目次 | Contents

東北画は可能か? Is Tohoku painting possible? 三瀬 夏之介 Natunosuke MISE.....4	寒河江慈恩寺本堂の絵馬調査と応急処置 Votive tablets "Ema" Research and first aid of the main hall of Buddhist temple "Jionji" in Sagae. 大山 龍顕 Tatsuaki OYAMA..... 76
◎特集:参加、体験、そして相互作用 —教養ゼミナール(ワークショップ)の挑戦.....14	芸術・デザインと性差によるスピリチュアリティ —東北芸術工科大学学生への意識調査結果に対する 性別と学部別のクロス集計分析— Spiritual Differences between Schools of Art and Design, and between Sexes 久保田 力 Chikara KUBOTA 渡部 諭 Satoshi WATANABE.....90
教養ゼミナール(ワークショップ)のねらいと展望 白杉 悦雄 Etsuo SHIRASUGI.....14	市民性を育む学習環境のデザイン —山形北高「図書館講座」の事例をもとに— Designing a Learning Environment for Citizenship Education — Case study of Yamagata-Kita High School "Tosyokan-koza"— 滝口 克典 Katsunori TAKIGUCHI.....98
教養ゼミナール(ワークショップ)での試みと成果 青山 ひろゆき Hiroyuki AOYAMA.....23	山形県のメッシュデータによる買い物困難地域の分析 Analysis of Retail Deserts using Grid System Data of Yamagata 古藤 浩 Hiroshi KOTO..... 116
アナログコミュニケーション アートプロジェクトの可能性 花澤 洋太 Yota HANAZAWA.....28	非合理的な愚か者—マイクロ経済学からみたアーティスト像 Irrational Fool — Picture of Artist depicted by the analysis of Microeconomics 山本 和弘 Kazuhiro YAMAMOTO.....126
「考え方」を学ぶためのワークショッププログラムの考案と実践 松村 泰三 Taizo MATSUMURA.....35	The Act of Consciousness in the Artistic Activity: Focus on Husserl's Theory of Intentionality 芸術活動における意識作用—フッサールの志向性理論に着目して Yushi KAJIO 梶尾 悠史.....136
表現者になるための基礎力を身に付ける 屋代 敏博 Toshihiro YASHIRO..... 40	2012年度東北芸術工科大学出版物総目次.....146
コミュニケーション能力の育成を目指したワークショップの試み 吉賀 伸 Shin YOSHIGA..... 46	戦国画人郷目貞繁試論 An Essay on the warrior painter Gounome Sadashige in the Sengoku period of 16th century 山田 烈 Isao YAMADA..... 四(171)
古写真から見た大正期までの日本街並み史概観 —日本の街並みの形成と消滅— Overview of the Townscape History in Japan up to Taisho-era Based on the Old Photographs — Formation and Diminution of Japanese Townscape — 相羽 康郎 Yasuo AIBA.....52	
山形県大江町左沢地区の歴史的建造物分布調査について —重要文化的景観選定に向けての取り組みとその成果— Report on historical building distribution in Aterazawa area, Oe Town in Yamagata Pref. for certification of "important cultural landscape." —The measurement survey and investigation for classification of various historical buildings— 志村 直愛 Naoyoshi SHIMURA..... 66	

2012年度 東北芸術工科大学 出版物総目次

(編集委員会の調査に回答のあったものを掲載)

◎全学共通

東北芸術工科大学 紀要 第20号
(2013年3月発行)

-
- 特集:学ぶ意欲をどのように高めるのか
— 教養ゼミナール(農芸)の挑戦 p.8
 - 教養ゼミナール(農芸)のねらいと展望 白杉悦雄 p.11
 - 農業の教養ゼミナールで学生はなにを得るか 古藤浩
p.17
 - 農芸ゼミナールでの試みと成果 早野由美恵 p.24
 - 教養ゼミナール「農芸」の実践からみえてきた学び
柳川郁生 p.32
 - 教養ゼミナール農芸クラスの成果と課題— 教養教育としての
意味を探って 片桐隆嗣 p.41
 - ソーシャルコンテンツによる地域活性化戦略の手法と
その検証 平林千春 p.50
 - 米沢寺町まちづくりワークショップの実践 地域の景観まちづく
りを考える、市民協働の取り組み手法について 志村直愛
p.62
 - 「生・死・死後」の色に関するイメージ 東北芸術工科大学学
生への質問紙調査結果から 久保田力 p.72
 - 日本における芸術の治療的可能性に関する考察 有賀三夏
p.84
 - 漫画映画からアニメーションへ— 自主制作という選択肢—
玉井建也、吉田正高 p.92
 - 大学初年次教育へのNIE活用に関する実験的演習の
実践報告—リメディアル教育への効果的な導入に向けて—
吉田正高 p.102
 - 「国際語」教育の展望 芸術大学における英語カリキュラム
再編の実践から 山口=内田雅克 p.114
 - 椿椿山「足利遊記」翻刻と解題 山田烈 p.165

◎美術館大学センター

TUAD AS MUSEUM : Annual Report 2012
(2012年度 東北芸術工科大学美術館大学構想年報)
(2013年4月発行)

-
- 石川直樹写真展『やがてわたしがいる場所にも草が生い茂る』
『異人 the stranger』得体のしれないものを受け入れる
— 震災と異人 石川直樹+宮本武典(聞き手) p.6
 - 『荒井良二の山形じゃあにい二〇一二』涙から乳へ— 荒井
良二の震災以後 宮本武典 p.31
 - 『荒井良二の山形じゃあにい二〇一二』東北未来絵本
あのとときあれから それから それから 荒井良二+宮本武典
p.44
 - TUAD mixing! 2012『記憶の声 Voices of Memory』
心に刻印する 和田菜穂子 p.53
 - TUAD mixing! 2012『記憶の声 Voices of Memory』
記憶と災害 五十嵐太郎 p.62
 - TUAD mixing! 2012『記憶の声 Voices of Memory』
・ 声 言葉の力 山川健一+竹内昌義
・ 拡張する記憶 根岸吉太郎
・ 伝達する声のバイブレーション 宮島達男
・ 〈声〉が集結した一八日間 和田菜穂子 p.66
 - 制作ノート「美術大学」という文化を考える 酒井忠康
p.78
 - 制作ノート 月山若者ミーティング— ひじおりの灯二〇一二
宮本武典 p.80
 - 制作ノート アートプロジェクト〈煌めき〉— アフィニス夏の音楽
祭二〇一二山形 和田菜穂子 p.82
 - 制作ノート 生命の尊さ— 『うみのおと さかなのきもち』
和田菜穂子 p.84
 - 制作ノート 福島の「てぶくろ」— キッズアートキャンプ山形、
二年目の夏 宮本武典 p.86

◎東北文化研究センター

研究紀要12
(2013年3月発行)

-
- 縄紋時代早期論(下) 安斎正人 p.3
 - 中尊寺供養願文の偽作説について 入間田宣夫 p.33
 - 明治初頭〜一〇年代における漁村の秩序と変容II — 伊豆
国内浦小海村を対象に 中村只吾 p.43
 - 鎮守神と屋敷神、そして女性たちの祈りのかたち— 山形県
西村山地域に所在する小新・弥勒寺両地区の事例から
鈴木明里 p.107

-
- 東北中部における縄文時代後期後葉の型式変化―田柄貝塚と里浜貝塚の出土層準の再確認 小林圭一 p.45
 - 配石遺構からみた米代川上流域における縄文時代中期末～後期中葉の集落構造の変遷 海藤元 p.1
 - 研究員プロフィールおよび業績 p.I
 - 平成24年度東北文化研究センター実績一覧
 - 東北文化研究センターの機能／東北文化研究センター組織
-

東北学01

(2013年1月発行)

-
- 旅スケッチ―アフリカ!アフリカ! 田口洋美
[特集]―はつかりから、はやぶさ、へ
 - [対談]若者よ、今が未来への土台を築く時だ!!―未完成の「999」で旅立つ準備を怠るな 松本零士
(聞き手:田口洋美) p.10
 - エッセイ00「はつかり」から「はやぶさ」まで 佐藤健治 p.28
 - 論考01 東北地方の鉄道路線開業の歩み 原口隆行 p.28
 - 論考02 岩越線の全通と会津 徳竹剛 p.82
 - エッセイ01 東北に残る最後のブルートレイン 小牟田哲彦 p.101
 - エッセイ02 東北の鉄路と文学 小関和弘 p.119

[連載]

- 阿武隈梁山泊外伝 [第1回] たつきよしみつ p.141
- 八甲田山における山岳ガイドの変遷 [第1回] p.164
- ホンのひとこと―「浦」で生きるということ p.184
- 東文犬研究所―JR東日本さんに聞きました p.189
- アートフルワンダーランド [第1回]染織家の手仕事と感性 p.198
- 復興ダイアリー 〈1〉新聞紙面にみる復興 [2011.3.11～2012.9.10] p.206

まんだら vol.51

(2012年7月発行)

[対談]

- 学生とフィールドへー 研究と教育のコラボレーション 田口洋美・竹原万雄 p.4
- オープン・リサーチ・センター整備事業「東北地方における環境・生業・技術に関する歴史動態的総合研究」終了の報告 p.13

[フィールドワークの現場から]

- 小玉川での熊祭りといわび野焼き p.19
 - 研究員からのメッセージ～part1～ p.22
 - イベント報告&案内 p.24
-

まんだら vol.52

(2013年2月発行)

-
- [対談]日本人はどこから来たのか? グレートジャーニー―人類と日本人のルーツを探る旅 関野吉晴・田口洋美 p.2
 - [概要と初年度の活動報告]文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業 環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究 p.12
 - [フィールドワークの現場から]阿仁集落調査と前田村文書調査 p.18
 - 研究員からのメッセージ～part2～ p.22
 - イベント報告&案内 p.24
-

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的
研究 平成24年度研究成果報告書
(2013年3月発行)

[第1部]研究の目的と概要 田口洋美 p.1

[第2部]平成24年度研究成果報告

- 1 環境史研究および地域比較研究の進捗状況
 - ・民俗・人類班 蛭原一平 p.5
 - ・歴史班 佐藤健治・竹原万雄・中村只吾 p.9
 - ・考古班 長井謙治 p.13
- 2 地域資源活用研究の進捗状況 蛭原一平・中村只吾 p.19

[第3部]個別研究成果報告

- 1 [研究ノート]「神仏のいる『林』」 菊池勇夫 p.23
- 2 [講演抄録]「海から見た東北」 田口洋美・森本孝・川島秀一 p.27
- 3 [講演抄録]「空から見た東北」 田口洋美 p.49
- 4 [補足資料]三陸沿岸集落を中心とした景観写真 p.65
- 総括 田口洋美 p.79
- 附編1 本事業に関する研究実績一覧(平成24年度) p.83
- 附編2 本事業に関する新聞等記事掲載一覧(平成24年度) p.92

◎文化財保存修復研究センター

平成24年度東北芸術工科大学
文化財保存修復研究センター紀要 No.3
(2013年3月発行)

- はじめに p.1
 - 平安時代前期の神宮寺における薬師如来像造立について
—滋賀・大嶋神社奥津島神社蔵木造地藏菩薩立像再考—
長坂一郎 p.3
 - 熊谷守一『牡丹』における析出物の分析と考察
藤田まり子、森直義 p.19
 - 高橋源吉の油彩画に使用された制作材料・技法について
—山形市所蔵 高橋源吉作『宮城縣穴瀑之紅葉』『天華
岩』『藤花滝』を対象に— 大場詩野子 p.29
 - 新海宗慶(宗松)および少年期の新海竹太郎の造形的特
徴における新知見—神仏分離に伴う古仏修理から得られ
た造形理解に関する考察— 岡田靖・宮本晶朗 p.45
-

文化財保存修復研究センター年報2012(No.4)
(2013年7月発行)

- [特集]東日本大震災被災文化財救済活動への取り組み2
p.4

[保存修復研究活動]

- 平成24年度修復・調査研究 p.10

[主要保存修復研究事例]

- 東洋絵画部門
 - ・ 上山市久昌寺所蔵「ムササギ絵馬」の応急処置 p.12
 - ・ 山形大学小白川図書館所蔵「周期律表」の保存修復
p.15
- 西洋絵画部門
 - ・ 米沢市上杉博物館所蔵 土田文雄作品の保存修復
p.18
- 立体作品部門
 - ・ 宮城県美術館所蔵 佐藤忠義作「牧神」「人魚」の保存
修復 p.26
 - ・ 山形美術館所蔵 新海竹蔵作「トルソー(メデイチのヴィー
ナス)」の保存修復2 p.30
- 古典彫刻部門
 - ・ 金山町所蔵 上中田地区「番楽面八面」の保存修復
p.36
 - ・ いわき市御宝殿熊野神社所蔵「木造獅子頭」の保存修
復 p.40

-
- ・ 真室川町歴史民俗資料館主催企画展「行屋の神仏展」
に関する仏像の調査・撮影・梱包・運搬・展示補助 p.44
-

平成24年度文化財保存修復研究センター研究成果報告書
(2013年8月発行)

- はじめに p.3
- 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の
概要 p.5
- テーマ1「保存修復活動から展開される地域文化遺産の
再発見と新たな価値の創出」 p.11

[基調講演]

- 安中坊遺跡の整備・活用について—西川町文化財調査委
員会の答申を中心として— p.17
- 出羽三山信仰と21世紀の広域交流圏 p.19
- 大江町の文化を育んだ歴史民俗的背景 p.21

[出羽三山信仰に関する文化遺産の研究]

- 西川町岩根沢地区宿坊文化財悉皆調査 p.25
- 西川町旧本道寺文化財補足調査 p.39

[制作者に着目した文化遺産の研究]

- 当該地域における近世近代の仏像の造像活動の展開
p.45
- 高橋源吉と山寺 p.57

[民間信仰に関する文化遺産の研究]

- 対象地域に所在する書画—調査研究報告と絵馬の応急
処置— p.77
- [地域の自然資源に根ざした文化遺産の研究]
 - 高島石の外構利用とその集落景観 p.91
 - 高島石を活かしたまちづくり p.101

[遺跡文化遺産に関する研究]

- 戸塚山175号墳の発掘調査 p.107
- テーマ1 小結 p.115
- テーマ2『環境に配慮し、安全で簡便な地域文化遺産保存
管理』を地域住民と展開するための基礎研究と教育普及
p.117

[保存環境調査に関する研究]

- 亀岡文殊における保存環境調査と簡易的生物被害対策
p.121

[地域文化遺産保護活動の実践に関する研究]

○塩田行屋での総合的な保護活動を通じて p.129

[特産素材からみたら地域文化力の向上に関する研究]

○青芋と和紙からみた地域文化力の向上 p.141

[教育普及活動の実践]

○平成24年度の教育普及活動について p.147

○テーマ2小結 p.155

○平成24年度研究調査報告会 p.157

○総括 p.165

◎東北復興支援機構 (TRSO)

こども芸術の家 Home of Art for Kids

震災後の〈こども=未来〉を考える

プロジェクト・メイキング・プロセス

(2013年3月発行)

平成19年度～平成23年度文部科学省私立大学学術研究

荒井良二／澤口俊輔／馬場正尊／原高史／宮島達男／

宮本武典／山崎亮

○[年表]「こども芸術の家」関連の復興支援 p.4

○[はじめに]この本について p.6

○[鼎談]こども芸術の家が目指すこと p.9

○ホームのつくり方 4+1のケーススタディ p.20

○[case0]福興会議 p.22

○[case1]荒井良二とふらっくしゅ+東北未来絵本 p.48

○[case2]あそびのえんにち p.67

○[case3]キッズ・アート・キャンプ山形2011+2012 p.78

○[case4]福しまピクニック+福しま図案室 p.100

○[鼎談]こども芸術の家が目指すこと〈続〉 p.117

○本書にご協力いただいた方々 p.122

○おわりに p.124

執筆者一覧

Contributors

近藤 一弥 デザイン工学 グラフィックデザイン学科 教授
Kazuya KONDO Department of Graphic Design, School of Design, Professor.....表紙

三瀬 夏之介 芸術学部 美術科 准教授
Natsunosuke MISE Department of Fine Arts, School of Art, Associate Professor.....4

白杉 悦雄 教養教育センター 教授
Etsuo SHIRASUGI Center for Liberal Arts, Professor.....14

青山 ひろゆき 芸術学部 美術科 講師
Hiroyuki AOYAMA Department of Fine Arts, School of Art, Lecture.....23

花澤 洋太 芸術学部 美術科 准教授
Yota HANAZAWA Department of Fine Arts, School of Art, Associate Professor.....28

松村 泰三 芸術学部 美術科 准教授
Taizo MATSUMURA Department of Fine Arts, School of Art, Associate Professor.....35

屋代 敏博 デザイン工学部 映像学科 准教授
Toshihiro YASHIRO Department of Film and Media, School of Design, Associate Professor.....40

吉賀 伸 芸術学部 美術科 講師
Shin YOSHIKA Department of Fine Arts, School of Art, Lecture.....46

相羽 康郎 デザイン工学部 教養教育センター 教授
Yasuo AIBA Center for Liberal Arts, School of Design, Professor.....52

志村 直愛 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 教授
Naoyoshi SHIMURA Department of Environmental Design, School of Design, Professor.....66

大山 龍顕 文化財保存修復研究センター 専任講師／研究員
Tatsuaki OYAMA Institute for Conservation of Cultural Property, Lecturer／Researcher.....76

久保田 力 教養教育センター 教授
Chikara KUBOTA Center for Liberal Art, Professor

渡部 諭 秋田県立大学総合科学教育研究センター 教授
Satoshi WATANABE Akita Prefectural University, Research and Education Center for Comprehensive Science, Professor.....90

滝口 克典 教養教育センター 非常勤講師
Katsunori TAKIGUCHI Center for Liberal Arts, Part-time lecturer.....98

古藤 浩 教養教育センター 准教授
Hiroshi KOTO Center for Liberal Arts, Associate Professor.....116

山本 和弘 映像学科 非常勤講師
栃木県立美術館 シニア・キュレーター
Kazuhiro YAMAMOTO Part-time Lecturer Department of Film and Media, Senior Curator Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts.....126

Yushi KAJIO Center for Liberal Arts, Part-time Lecturer
梶尾 悠史 教養教育センター 非常勤講師.....136

山田 烈 芸術学部 美術史・文化財保存修復学科 非常勤講師
Isao YAMADA Department of Art History and Conservation, School of Art, Part-time Lecturer.....四(171)

編集後記

Afterword

前回第20号で紀要のリニューアルは達成されたので今回は大船に乗った感じがすむか…と思いきや、直していきたいこと、制約の追加など様々なことが発生して、想定外の苦心の末、紀要第21号を手にすることができました。わかりやすさやフォーマットなど基本的な項目を中心に、実質的な査読をはじめたことが今回の前進です。原稿によっては10以上の修正意見に対応して頂きました。対応して原稿を洗練して頂いた投稿者の方々に御礼申し上げます。また、紀要編集にご協力いただいた関係各位・皆様にも深く御礼申し上げます。

今号の特集論文は教養ゼミナール(ワークショップ)でした。様々な活動がとても楽しそう、かつやりがいがありそうです。また芸術学部からも作品原稿を投稿して頂けたので、より東北芸術工科大学らしい、すばらしい紀要になりました。

この紀要を手に行っている皆様からの今後の投稿をお待ちします。大学院生・大学院卒業生の方にも門戸を開いています。

そうそう、国立国会図書館のデジタル化が進みました。国会図書館サイト(iss.ndl.go.jp)で検索すれば、過去の本学紀要論文もあまさず出てくるようになりました。少しうれしいです。(古藤)

本号は、一般的な学術研究の論文に加えて、ひさびさに教員自身の作品制作に関する論文も掲載されるなど、より美術大学の紀要に相応しい充実した内容となりました。

さらに前号に引き続き、1年生の必修科目である教養ゼミナールのワークショップクラスに関する報告を巻頭特集として掲載いたしました。これは、近年本学で積極的に実施されているFD(ファカルティ・ディベロップメント)の成果としてのカリキュラムあるいは授業のさらなる改善活動の一環としても重要と言えるでしょう。

なお、本学大学院の改革も着実に進んでおりますので、次号では本学大学院生からのフレッシュな投稿を期待します。(吉田)

寄稿いただきました先生方及び古藤委員長をはじめ、他の委員の方々に御礼申し上げます。

本号では従来の研究論文のほかに、昨年から特集している初年次教育カリキュラム「教養ゼミナール」における教育研究・成果の報告や、教員と学生とが共同で研究するチュートリアルから「東北画は可能か?」をピックアップして、その成果と報告を寄稿いただくなど、本学教育の現況を発信する場としての紀要の定着が図られてきていると云えます。

本学では芸術を通した多岐にわたる魅力的な取り組みが多くあります。それらを広くたくさんの方々に知っていただく為の紀要として、これからも先進的な教育研究や本学の特徴的な活動を紹介していきたいと考えています。

今後も教職員の皆さまはもちろんのこと大学院生からも寄稿いただけることを願います。(青山)

東北芸術工科大学紀要 No.21

平成26(2014)年3月31日 発行©

発行者:東北芸術工科大学

〒990-9530 山形市上桜田3-4-5

学長 根岸吉太郎

編集:紀要編集委員会

編集委員長:古藤浩

編集委員:

吉田正高

青山ひろゆき

エディトリアル・デザイン:近藤一弥

印刷:田宮印刷株式会社

目次 Contents

戦国画人郷目貞繁試論 四 (171)
An Essay on the warrior painter Gounome Sadashige
in the Sengoku period of 16th century
山田 烈 | Isao YAMADA

No.21 | Mar.2014

BULLETIN OF
TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

東北芸術工科大学 紀要

No.21 | Mar.2014

BULLETIN OF
TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

東北芸術工科大学 紀要



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN